



さいかい

2024.8 vol.116 Summer

～Contents～

● 職場紹介（労災病院）

● 第30回長崎県作業療法学会報告

● 第31回長崎県作業療法学会紹介

● 令和6年度 新人紹介

● 理事紹介

● 長崎県作業療法士会定時総会報告

● 達人tell me（災害リハについて）

● パパさんOT紹介

● 地域ケア会議（諫早市での取組み）

● 広報局のすゝめ本

● 「さいかい」感想アンケート

労災病院のOTの特徴

当院のリハ部は昭和32年5月に開設された県下で最も古い歴史と伝統があり、地域医療と勤労者医療を行っています。

両立支援や自動車運転再開支援を積極的に行っています。また、学会発表や勉強会の実施など外部への発信も精力的に行っています。

スタッフは個性的な人が多く、明るい性格なので職員や患者さんに笑顔が絶えません。

特に力を入れているのは

脳卒中後に運転再開を希望される患者さんに対し入院時や退院後、当院外来で運転再開に向けて支援を行っています。必要に応じて神経心理学的検査やドライブシミュレーターによる実車前評価、自動車学校での実車評価を行っています。



新シリーズ アイスブレイクコーナー 職場紹介

当院で行っているリハ

心大血管リハ
脳血管リハ
運動器リハ
呼吸器リハ
地域包括ケアリハ
がんリハ
ICUリハ

今後も色々な職場にこの職場紹介のバトンを回していきます。ご協力よろしくお願いします。



長崎

労災病院

スタッフ紹介

【名前】 渡辺良一
【経験年数】 27年目？
【出身校】 柳川



【名前】 緒方友里夏
【経験年数】 10年目
【出身校】 九州栄養福祉大学



【名前】 尾坂愛菜
【経験年数】 7年目
【出身校】 九州栄養福祉大学



【名前】 塚本倫央
【経験年数】 佐世保経験11年
【出身校】 川崎医療福祉大学



投手

【名前】 馬場貴士
【経験年数】 8年目
【出身校】 口加高校



打者

【名前】 中屋公汰
【経験年数】 5年目
【出身校】 帝京大学



捕手

【名前】 久保田智博
【経験年数】 14年目
【出身校】 緑生館



審判



第30回 長崎県作業療法学会を終えて

『専門的な作業療法の探究と発展』



2024年3月9日（土）・10（日）に愛の夢未来センター（雲仙市愛野町）で第30回長崎県作業療法学会を開催いたしました。昨年まではコロナウイルスの影響によりオンラインのみでの開催となっておりましたが、今回は2019年の佐世保学会以来となる現地開催となり、会場には171名の方々にお越しいただきました。

特別講演・教育講演・テーマシンポジウムでは、作業療法の専門性を追求し長崎の作業療法を前へ進める素晴らしい内容でした。また離島シンポジウムでは離島で働く作業療法士の環境や現状を知り、会員全体でディスカッションできたことは離島作業療法の発展の一助になったと感じております。

4年ぶりの現地開催は、人との交流や学会会場の熱気のある雰囲気など改めて現地に集まって学会を行う意義を知ることができました。今回の学会開催は、コロナ禍の暗い雰囲気を一掃し、長崎県の作業療法を一步ならず二歩・三歩、前へ進めることのできた価値のある学会になったと感じております。

最後に長崎県士会会員の皆様、1年半という長い期間学会の運営を支えていただいた実行委員ならび県士会理事の皆様、当日の学会運営を手伝っていただいた運営委員の皆様へ心より感謝申し上げます。皆様のおかげで学会を盛会に終えることができました本当にありがとうございました。

第30回長崎県作業療法学会会長 山田玄太



和先生



昭夫先生

中部大学
岡野昭夫先生



山田玄太

長崎北病院
山田麻和先生



山田玄太

長崎大学病院
光永清先生

特別講演・教育講演では、名だたる顔ぶれの先生にご講演いただきました。どれも興味深い内容で夢中になって聴講しました。様々な視点からの講義で、分野が違ってOTとしての考えや知識の引き出しが増えた話ばかりでした。



シンポジウムでは、各分野で活躍されている先生方に登壇いただきました。各分野・施設・土地での現状や悩み、最新のトピックなど沢山のディスカッションを聴くことができ、視野が広がる場となりました。



離島シンポジウム



摂食嚥下シンポジウム

一般演題は、31演題をご応募いただきました。用意していた席が足りなくなるほど沢山の方にきていただき、色々な質問やアドバイスを飛び交い会場の熱気も高まっていました！審査の結果、「最優秀演題」を1演題「若手優秀演題」を2演題選出させていただきました。



脳血管障害シンポジウム

レセプション（懇親会）を、1日目終了後、L&Lホテルセンリユウで行いました。総勢73名の方に参加いただきました。長崎のOTは、パワフルで熱くてフレンドリーな先生が多い！！会ではテーブル対抗のゲームやメンチメーター式のアンケートなど内容も盛り沢山！楽しい時間はあっという間に過ぎました。



さいごに

4年ぶりの現地開催ということで、今までZOOMの研修会や会議などでしかお会い出来なかった先生方と対面で話せたり、学生時代の恩師や先輩、実習でお世話になったバイザーと再会したり、エネルギーをもらった2日間でした！今後も長崎県のOTの繋がりを大切にしていきたいです。

ロシアンルーレット
学会長まで！！



第31回・30回 学会長



紙コップタワー
一番高い人が優勝！



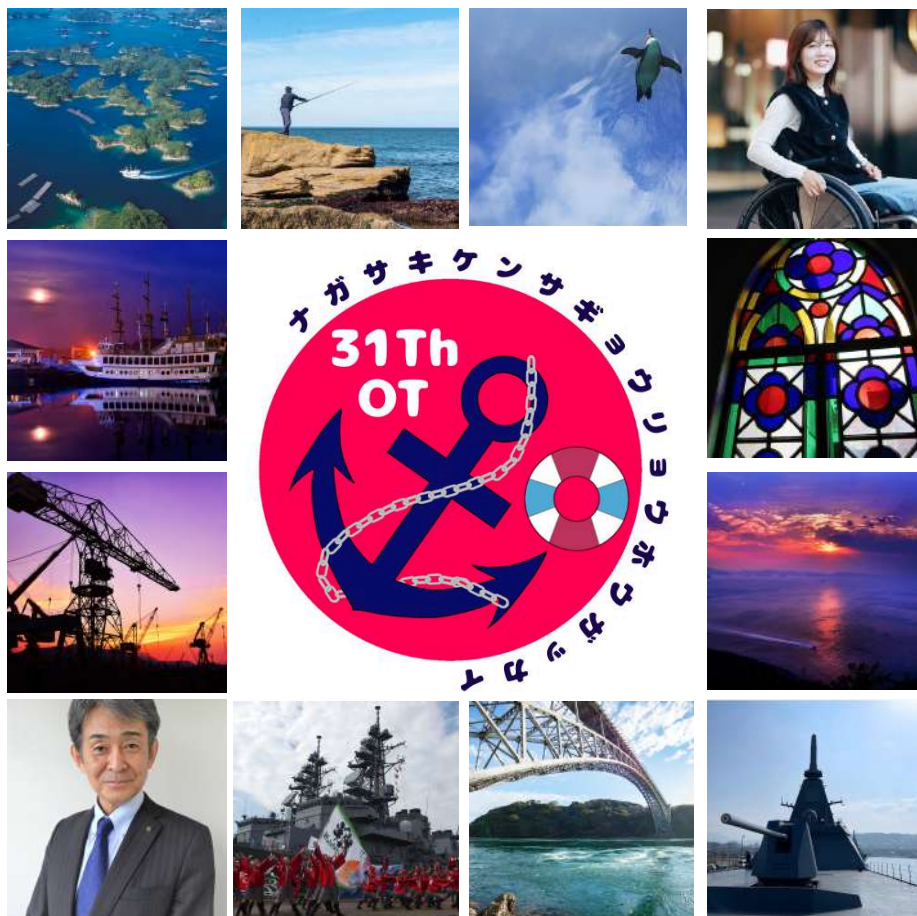
ロシアンルーレット
まさかの岡野先生が！



とても楽しかったです！

第31回長崎県作業療法学会

「困難な時代を切り開け!!
レジリエンスで創る未来」



写真協力：ながさき旅ネット様



【会期】2025年
2/8 (土)～2/9 (日)

📍アルカスSASEBO

🚶 JR佐世保駅から徒歩3分

🚗 西九州自動車道佐世保中央IC下り出口：1.3km

【学会長】 久保田智博(長崎労災病院) 【HP&SNSをCheck】

【実行委員長】 中島拓郎(佐世保北病院)



【演題募集】

募集期間 ▶ 2024年7月1日～9月30日

優秀演題あり

お問合せ

長崎県作業療法学会2025 in SASEBO

演題採択委員長 担当 三宅陽平(耀光リハビリテーション病院)

E-mail : 31.ot.resimira@gmail.com





特別講演

+

Skill upセミナー

- ①特別講演「未来を切り開く、OTの役割と使命」
②Skill upセミナー「私が考える中枢神経障害に対する上肢機能の治療戦略を紐解いて」
講師：山本伸一先生
日本作業療法士協会 会長
山梨リハビリテーション病院 名誉副院長



学会長 基調講演

テーマ：「レジリエンスで創る未来」～症例発表のメリットと作成のポイントを厳選して～
講師：久保田智博先生 長崎労災病院 中央リハビリテーション部主任



教育講演

テーマ：「リハビリテーション医療だからできる就労支援と自動車運転支援」
講師：豊田章宏先生 中国労災病院 治療就労両立支援センター長
日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医



市民公開講座

テーマ：「生きる」
講師：高橋尚子さん
株式会社CREIT(クレイト)代表取締役
Youtube「しょうこちゃんねる」



作業療法の家

市民公開講座後に作業療法啓発活動も行います！
公開講座は県士会員も参加できますので、ご家族も誘って参加してみたいかがでしょうか？
作業療法を知ってもらいたい機会かもしれません。

シンポジウム

テーマ：「作業療法士が困難な時代を切り開くために今必要なこと」
シンポジスト：山田 玄太先生(愛野記念病院)、大坪 建先生(和仁会病院)
桑原 由喜先生(長崎リハビリテーション学院)、塚本 倫央先生(長崎労災病院)
司 会：平川 樹先生(池田病院)

福祉機器 展示場

福祉機器展示場では実際に用具に触れることで、ご家族や患者さんが用具を使われるイメージが膨らんだり直接メーカーさんに質問ができたりと、大変有意義な時間になります。
小児から高齢者が楽しめるUdeスポーツや様々な自助具、リハビリ機器も展示予定です。
実際に手に触れて体験し、職場に取り入れましょう!!

レセプション

会場 ▶ JA佐世保ホール

交通アクセス



お問合せ

長崎県作業療法学会2025 in SASEBO
レセプション委員長 担当 森陵輔(佐世保北病院)
E-mail : 31.ot.resimira@gmail.com

佐世保駅から市役所方面へ車で5分
松浦町中央公園口バス停下車徒歩2分

令和6年度

長崎リハビリテーション病院



鵜殿康成

■患者さんを笑顔にできるOTになれるよう頑張ります。

馬場星花

■両者が楽しくリハビリができるよう知識や技術を多く身につけられるよう頑張ります。

山川愛歌

■患者様とコミュニケーションをしっかりと、知識や技術を身につけて楽しく仕事ができるよう頑張ります！

佐々木ちひろ

■新人として多くを学び、頑張りたいと思います。

桑原進之介

■患者様が安心して生活できるように支援していきます。

三原台病院



中尾真唯

■笑顔を忘れず、患者さま一人一人に寄り添える作業療法士を目指して頑張ります！

公立小浜温泉病院



小田章雄

■患者様の心を動かせるOTを目指して行きたいです。

宮崎病院



荒木悠太郎

■患者様が心身ともに元気になれるリハビリを提供できるOTを目指して頑張ります！

澤村美香

■生活期を見据えたりハを提供できるよう、頑張りたいです！

松岡病院



有馬冬桜

■患者様一人一人にあったリハビリを行い、患者様に信頼される作業療法士を目指します！

藤原彪嗣

■安心感を与えられる作業療法士になれるよう頑張ります！

新人紹介

Q.「今年の意気込みを
教えてください！」

※写真左より順に名前、コメント記載



耀光リハビリテーション病院



日見中央病院

林 真里奈

■多くの知識を学び、患者様に心から寄り添えるセラピストになれるよう頑張ります。

平野 詩織

■知識や技術を習得しながら、患者様の生活機能を向上できるようなセラピストになりたいです！

柴田 恵里奈

■患者さんに寄り添えるOTになれるよう頑張ります。

佐藤 陽花

■患者様の心の支えになれるようなOTを目標に頑張ります！



長崎北病院



浦川 佑人

■常に笑顔を中心掛け、日々患者さんや御家族の為に精進していきたいと思えます！

白川 孔太郎

■今、目の前の方々を精一杯喜ばせることのできる作業療法士になります。

峰 愛美

■患者様に寄り添い、信頼されるような作業療法士を目指します。

松竹 愛美

■笑顔を忘れず、患者様から信頼される作業療法士を目指します。



金山 ななみ

■患者様のことを第一に考え、安心感を与えられるような作業療法士になれるよう頑張ります。

米 宏美

■職場のチームで連携をはかり、患者様優先の作業療法を行えるよう頑張ります。よろしくお願ひします。



長崎大学病院

中川 祐

■たくさんの事を学び、新人OTとして患者様1人1人と丁寧に向き合い、その人に合ったリハビリができるよう頑張ります。

会長 沖 英一

【和仁会病院】



会長として12期目となります。会員一人一人の資質向上と県民の医療・福祉・介護・教育・就労などに貢献できる職能団体であることを最大の使命と考えています。皆さんのご協力をお願いいたします。

*写真は、職場から家まで歩いて50分。その途中で撮影しました。

副会長 小中原 隆史

【道ノ尾病院】



令和6年度定時総会終了後の理事会において、2期目の副会長を拝命しました。今年も引き続き宜しくお願い致します。県士会という場を活用して、会員の皆さんの「したい事・やりたい事」を共に実現できる場を作れるよう動いていきたいと思っております。

わたしの大切な作業：朝の掃除機かけ

副会長 黒木 一誠

【長崎北病院】



理事になり7期14年の間に地区理事、学会実行委員長、コンソーシアム長崎推進委員、事業局長、長崎国体推進委員、広報局長など様々な部局を経験させて頂きましたが、今回は新たに副会長を拝命しました。今までの経験を活かしながら、行政との連携や3団体との繋がり強化を図って行きたいと思っております。また、会員の皆様にはより県士会の活動を身近に感じて頂ける様に、活動していきたいと思っております。宜しくお願い致します。

学術局 光永 済

【長崎大学病院】



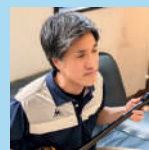
学術局理事として3期目を務めさせて頂くことになりました。1期、2期で経験し学んだことを、3期目で大きく生かせるよう更に精進していきたいと思っております。

学術局では研究や研修会補助金事業に加え、会員の皆様方の研究や学会発表、論文作成についても尽力していきたいと考えております。

分野や病院、施設の垣根を超えて気軽に相談・支援できる体制を引き続き整えていきますので、ご期待いただければと思います。全ての会員の方が主役です！学術局を是非活用し、利用していただければと思います。

地域生活推進局 日南 雅裕

【佐世保北病院】



こんにちは佐世保北病院の日南です。地域生活推進局の理事を務めます。今年度から当該局に福祉用具班、介護予防班が移動となり、班の規模が拡大しました。

班が増えるということは、プライベートな時間、趣味の時間が減るのではないかと少し心配しています。

私の趣味に興味がある方は佐世保北病院のホームページをご覧くださいと思います(笑)

理事としては5期目になります。無理のない範囲でみなさんと相談しながら、事業運営が円滑に進むよう取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお祈りいたします。

令和6年 長崎県作業療法士会



広報局 原 修平

【宮崎病院】

New



今年より理事に就任致しました。私は今まで広報局や県学会実行委員、諫早地区委員として、県士会に関わってきました。

県士会で奮闘する先輩方の背中を見て、私も何かできないかと思い、理事に立候補させて頂きました。

まだまだつながりも少なく、理事として何ができるか不透明な段階ですが、長崎県の作業療法の発展に寄与できるよう、広報活動や会員のつながりを作れるよう頑張っていきたいと思っております。若輩者ですがよろしくお祈り致します。

理

事

事業局 坪田 優一

【愛野ありあけ病院】



3期目を務めさせていただきます。愛野ありあけ病院の坪田と申します。引き続き、事業局を担当させていただきます。

主に地域包括ケア対策部を担当

し、地域包括ケア対策部推進班班長として各事業が円滑に進むように努めて参ります。

OT協会の動向や県士会で行っている取り組みを皆様に共有していきながら、個人、組織ともに成長していきたいと思っております。

また、県南地区としても平川理事、秋山理事とともに島原半島から県士会を盛り上げていきたいと思っております。どうぞよろしくお祈りいたします。

事業局 鎌田 秀一

【日見中央病院】



理事2期目となり、事業局を担当(継続)させていただきます。これまで、地域包括ケア対策部内の各班事業を担いつつ、局内の財務・庶務に関する管理等を主に担ってまいりました。

今回は坪田理事より地域包括ケア対策部、原田理事より他団体対策部の事業に関し、更なるご指導をいただきつつ、本業で対応困難な場合には即応できるよう準備していきたいと思っております。今後ともよろしくお祈りいたします。

事業局 原田 洋平

【長崎県福祉保健部長寿社会課】



理事4期目になります。これまでは県央地区と事業局を兼務で担当させて頂きましたが、今回は事業局を担当させていただきます。事業局のうち、主に県内他団体と連

携しながら共同で取り組む事業を担当します。神経心理学的検査研修会、災害リハビリテーション班、4団体合同班(地域包括ケアに資する地域リハビリテーション専門職認定研修会)、子どもの地域生活支援班、歯科保健医療推進事業班の5班の業務を主に担当します。会員の皆様の声を聞かせていただきながら、他団体と連携しながら、会員の皆様の役に立てるような取組を実施できればと思っております。今後ともよろしくお祈りいたします。

事務局 福島 浩満

【長崎医療技術専門学校】



2014年から理事を務め、今回で6期目となりました。2018年から事務局を担当し、多くの経験と学びを得ています。コロナ禍を経験し、その中でできる限りの士会活動を模索していくこと

で、否が応でもIT関連知識と技術はアップデートされてきました。

県士会で保有する機材は、会員の皆さんへは貸出しも可能です。使用したい機材がありましたらご連絡ください。

今後も会員管理はもとより、会員の皆さんに有益な場が提供できるよう善処してまいります。

今期も何卒よろしくお願いたします。

教育局 中村 和也

【長崎記念病院】



今回2期目の任務として、引き続き教育局を担当させていただきます。教育局は現職者研修会や臨床実習指導者講習会などを運営することが主な役割です。少ない局員数でありながら年間20回程の研修会のお世話

をさせていただいております。大変ではありますが、学びの場に携わせていただくことは自身の成長を促す機会となります。教育局の活動に興味を持つ方がいらっしゃれば、ぜひお声をおかけ下さい！ご存じのとおり、来年4月よりOT協会の「新生涯教育制度」がスタートします。現行制度との狭間で混乱が生じぬよう、サポートに努めて参りたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

教育局/県北地区 塚本 倫央

【長崎労災病院】



今期も教育局と県北担当理事を務めることになりました長崎労災病院長塚本倫央です。今年度は佐世保で長崎県作業療法学会が開催されます！ぜひ参加してみてください。

職場の上司はどうか配慮をお願いいたします。県学会は県士会活動の活動の中で唯一の新人からベテランが多く集う場と言えます。懇親会にも参加してつながり、長崎県の強みを見せつけましょう！

地域生活推進局/地域局（県南地区） 平川 樹【池田病院】

Re



今年度から地域生活推進局と県央・県南地区理事を担当させていただきます。池田病院の平川です。5年ぶりに理事として県士会活動に関わらせていただくことになりました。

思えば、コロナ前に10年間理事を務めていたころと比較し、取り巻く環境が大きく変化していることを痛感しています。しかし、我々がすべきことは何も変わりはありません。作業療法は、人を笑顔にすること、元気にすることができる仕事です。その為には、日々の研鑽が必要となります。少しでも皆様のお役に立てるように頑張っていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

地域局（長崎地区）川口 幹

【長崎リハビリテーション病院】

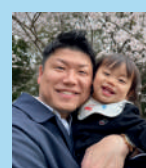


長崎地区理事として、4期目をつとめさせていただくことになりました。この6年間何かできたのかと振り返ると答えられないところで

が、積み重ねてきたものを土台に、他の理事の方々や地区運営委員のみなさまと一緒に、今期も取り組んでいきたいと思っております。長崎地区には多くの会員がおり、魅力的な人材が埋もれているはずなので、ぜひface to faceでつながる機会を持つことができればと思っています。よろしくお願いたします。

地域局（県北地区）小出 将志

【燿光リハビリテーション病院】



今期も県北地区理事を担当させていただきますことになりました。4期目として、県北地区は勿論ですが、今まで関わらせていただいた方のご縁も大切にしながら、地区の垣根を越えた懇親の場を設けてい

たいと思っております。今年度第31回県学会は佐世保です。学会にも懇親会にも県内から多数のご参加お待ちしております(^ ^)今期もよろしくお願いたします！

地域局（県央地区）畑田 美恵

【大村共立病院】



県央地区理事の畑田(はただ)です！

精神科デイケアで、日々、利用者みなさんといろんな時間を過ごしています。

この職場のネームプレートのように、シンプルでわかりやすく行動していきたいです。そして、たくさんの方とつながりを持ちたいと思っています！

どうぞ、よろしくお願いたします。

紹介

地域局（県南地区）秋山 謙太

【愛野記念病院】

New



今期より県南地区担当理事となりました。今年3月に開催されました第30回長崎県作業療法学会では、事務局長を務めておりました。その際には会員の皆様へは大変お世話にな

り、誠にありがとうございました。初めての理事ということもあり、ご迷惑をおかけすることが多々あるかと思いますが、精一杯頑張ります。

私の興味がある分野は『栄養』であり、今回の診療報酬改定でも盛り込まれてきましたので、少しでも有益な情報を提供ができればと考えております。どうぞよろしくお願いたします。

地域局（離島地区）遠藤 信子

【特別養護老人ホーム光の苑】

New



このたび離島理事に就任することとなりました。私はもともと東北出身で長崎については詳しくありません。島暮らしも25年になりますが、実は対馬は1度だけ。

五島はまだ行ったことがありません。離島同士のOTのつながりもやっと始まったばかり。離島は不便でOTも少ないし...25年前はそんな思いで海を渡りました。でも今やオンラインもあり海を越えてつながることも容易くなりました。理事としてできることはまだ見えませんが、島々のOT同士、更に他の地区のOTさんともつながれたらいいなと感じています。どうぞよろしくお願いたします。

今年、継続14名に再任1名と新任3名が加わり、令和6年度の総会にて当会の体制が決定されました。

理事の皆様からコメントを頂いていますので、ご一読ください。



令和6年度定期総会が 開催されました

総会報告

1) 令和5年度事業報告

沖会長より、地域包括ケアシステムの構築に向け、県、市町及び関係機関が連携して、地域における支援体制整備を推進するため「長崎県地域包括ケアシステム推進協議会」を設置しており、県内8圏域においても地域密着型リハビリテーション支援体制の整備が進んでいること。その協力医療・介護施設に勤務されている会員に対して、事業局を中心に人材育成への取り組みを行っていること。

また、今年度は対面での会議・研修会を開催しましたが、特設学会運営支援委員会により、離島の会員が参加できるように安定したハイブリッド開催をサポートできた事などの報告が行われました。各局の詳細な活動に関しては、各担当理事から議案書に基づき説明が行われ、承認されました。

種別	氏名	所属施設名	所在地
会長	沖 英一	和仁会病院	長崎
副会長	小中隆史	道ノ尾病院	長崎
	黒木 一誠	長崎北病院	長崎
理事	福島 浩清	長崎医療技術専門学校	長崎
	中村 和也	長崎記念病院	長崎
	塚本 倫央	長崎労災病院	長崎
	光永 清	長崎大学病院	長崎
	原 修平	宮崎病院	長崎
	坪田 健一	愛野ありあげ病院	長崎
	鎌田 秀一	日見中央病院	長崎
	原田 洋平	長崎福祉保健部長寿社会課	長崎
	日南 雅祐	佐世北病院	長崎
	平川 樹	池田病院	長崎
	川口 幹	長崎リハビリテーション病院	長崎
	小出 得志	曙光リハビリテーション病院	長崎
	畑田 英恵	大村共立病院	長崎
	秋山 謙太	愛野記念病院	長崎
	遠藤 信子	特別養護老人ホーム光の苑	長崎
監事	松尾 忠昭	公立小浜温泉病院	長崎
	永石 博樹	介護老人保健施設 フォンテ	長崎



久保田学会長 (第31回)

4) 第31回長崎県作業療法学会

久保田智博学会長より、学会で発表することがメリットの1つであると学会に対しての思いを発言され、案内と演題や参加に対しての依頼等がなされました。

6) 令和6年度 日本作業療法士協会定時社員総会報告

OT協会＝県士会とし、47都道府県が情報共有でき、OT協会が一括会費を徴収し、そしてそれを分配できるというシステムに変わること、協会の理事選挙のあり方が次の選挙で変わり、さまざまな人たちが協会の理事を担当し、多様な意見を吸い上げながら運営できるよう男性・女性のクォーター制を導入して行くこと等の報告がなされました。

2) 令和6年度役員選挙

中村雄太選挙管理委員長より、役員選挙について、立候補者及び推薦者数が定数以下であるため、全員当選となったこと。定数を下回った役職については定義施行規則第12条に基づき、理事会が推薦したとの説明がありました。

役員の任期は令和6年6月15日より令和8年定時総会までとなっています。

承認後、新理事の平川樹氏、原修平氏、遠藤信子氏、秋山謙太氏より挨拶が行われました。

3) 令和6年度事業計画および予算案

今年も、長崎県の地域密着型リハビリテーション支援体制に対して、会員の資質を補助して行くための研修会等を開催していくこと。離島に対するハイブリッドの形式で研修会等の開催を継続していくこと。また、九州全体で自動車運転及び移動方法の安全支援体制整備を整えていくということで、委員会を設置し準備していくことが報告されました。

令和6年度の変化点として、長崎県リハビリテーション専門職団体協議会（PT・OT・STの3団体で役員を選出）の連絡協議会を作り、3団体で活動を行うことの報告がありました。

予算に関しては、福島事務局長より報告がありましたが、収入見込みよりマイナスの事業計画となっており、正味財産減小に対して会員からの質問もありました。これに対しては、事業に対するや活動費の正常化を図って行くために、会議費や活動協力金の増額見直しを行ったことや物価高騰で経費もかかっている状況との説明がありました。会費の収入が今は横ばいの状況なので、対策として、今年からは研修会収入は、適正に1,000円は会員からいただく計画で、今後、会費の増額等も含め、収益確保についても検討していくことの説明もありました。これを踏まえた上で承認を頂きました。

4) 第31回長崎県作業療法学会

5) 第32回長崎県作業療法学会 学会長の選任

理事会において選出され、承認を頂いた岩阪真大学会長（出口病院）が挨拶され、学会を通して、会員や会員でない方々、学生さんにも、OTとしての魅力や、頑張ったらこうなるよということを見ていただいて、県士会に入ろう、県士会に入ってよかったと感じていただける場としたいこと等が述べられました。



岩阪学会長 (第32回)



新旧理事会役員

総会の開会と成立

令和6年度定時総会は、長崎市役所多目的スペースにて開催されました。議長団としては、円能寺哲氏（あきやま病院）が議長に立候補され、承認されました。

沖会長からの挨拶後、議長より定足数の報告がありました。議決権を有する会員数971名に対し、今総会の出席者は532名（会場42名、オンライン5名、委任状提出者336名、議決権行使書提出者149名）で、定足数となる486名以上（議決権有する会員数の過半数）の出席を得て今総会は成立しました。

書記には中里歩美氏（公立小浜温泉病院）と永田浩一氏（公立小浜温泉病院）が、議事録署名人には、中山浩介氏（菅整形外科病院）と池田麻友美氏（大村共立病院）が任命されました。

災害リハビリテーション
を学び、災害に備えよう



長崎医療技術専門学校

淡野義長

災害が身近になってきています。
あなたとご家族は支援者にも、受援者にもなる可能性が・・・

近年は気象変化の中、自然災害が多いように感じます。台風や線状降水帯による豪雨は、毎年の行事のようになっていきます。南海トラフ地震が心配されていますが、この10年以上では、断層型の地震の方が多そうです。落雷や雹、竜巻も珍しくありません。このような中では、自身や家族、親せきや友人が被災者となるのが予測されます。災害支援者ではなく、被災者や受援者になってしまうことも珍しくないでしょう。被災者であり支援者でもあるという両方の立場になることは珍しいことではありません。

災害支援者としては、JRATに代表される災害支援組織から派遣されたり、自らの意思で災害ボランティアに参加したりということがあるかと思われます。避けられた死と言われる災害関連死は、阪神淡路大震災をきっかけに、東日本大震災で大きく取り上げられるようになりました。

※東日本大震災災害関連死数：3,802名（66歳以上は3,363名で88%）（復興庁）

災害関連死の多くは高齢者です。心身共に疲労するとともに、家族や友人を亡くした孤独感や焦燥感、サバイバーズ・ギルドなど様々な状況に置かれたことと推察します。避難生活における事故を予防し、生活不活発状態を改善し、自己効力感を刺激し、災害関連死をゼロにしたいという願いから、JRAT（災害リハビリテーション支援）活動ははじまりました。昨今では毎年のように、どこかで活動の機会があるような状況です。今後も続くことでしょう。

※熊本地震における災害関連死の死因（内閣府）
呼吸器疾患：29% 循環器疾患：28%
※避難所からの救急搬送の主要因は、呼吸困難と転倒（災害医学会）

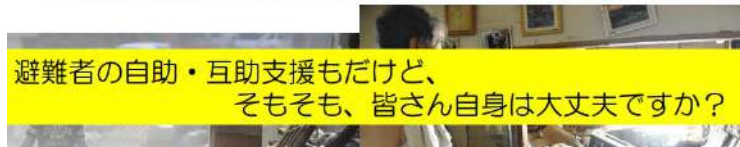
災害支援に行くための準備はどうすればよいかと聞かれることがあります。右図のように医療を例に我々が普段やっている仕事を左列とすると、対象者の多くは救急からの流れの一連の経過の中に身を置くこととなります。支援者であるOTは、自分のステージだけでなく、前後やその先のことを想像して、今の優先順位を考えて支援していると思われます。別のステージの経験がなくても、想像はできています。同じように災害も多くは一定の経過を経ていきます。日ごろの仕事を視野を広く、創造的にとらえ関わることで、いざというときに発揮できるものです。まずは、平時の仕事を丁寧に行うことだと伝えていきます。その上で、災害に関する興味をもったところから学んでいきましょう。



大切なことは、自らのSOSの発信

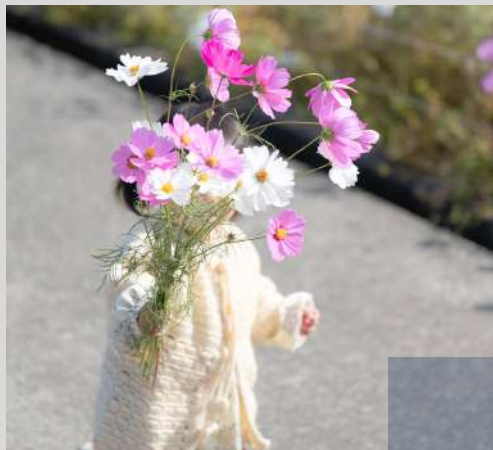
同業者の仲間を助けませんか？

同じ業界の仲間が助けに来てくれるという頼もしさと安心感
お父さんやお母さんと同じ仕事の人助けに来てくれるという安心感
⇒ 家庭が安心だと、外部で発揮できる ⇒ 支援準備だけではなく、受援の準備も必要



支援者にせよ、受援者にせよ、基本は自分と家族が少しでも健康であるということです。地元の災害では自分も被災者である可能性が高いです。自分のところをかえりみず、外部のことばかりになると、家族は離れていきます。かといって・・・と、職場や団体での役割も手放せず、一人では八方ふさがりになりがちです。隣県の同業者に協力を仰ぎましょう。前もって何らかの話をまとめておくといざというときにはスムーズです。知り合いを頼りましょう。この業界の人たちは頼もしいものです。

多くの会員にとっては、今のところ災害は非日常の方が多いかと思えます。長崎県内は決して安全な所ではありません。自分と大切な人やモノを護るために危機感を一段上げ、できる準備をしましょう。他人の知恵も私の知恵です。職場や町内の人たちとも話をしてみましょう。最後に頼れるのは、やはり知っている人です。できるところから通年でリスクをコントロールしましょう。みなさん、どうぞ、ご安全に。



パパOTとして

【プロフィール】

公立小浜温泉病院 吉田将人

- ・長崎医療技術専門学校卒業
- ・趣味：音楽、写真（家族や風景等）、旅行
- ・公立小浜温泉病院入職
- ・家族：妻と子供（0歳・3歳）の4人暮らし
- ・急性期 2年経過後、現在回復期7年勤務

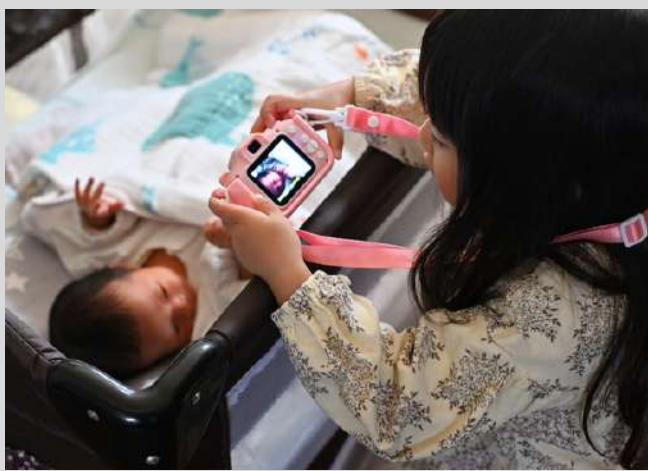
父親として

3月に2人目が生まれ、4月中旬から1か月半育児休暇を取らせて頂きました。生活リズムやスタイルが一変したため、慣れる期間、お互いの負担を軽減するためにも助かりました。実際のところは、上の子が赤ちゃん返りをし、妻が付きっきりになったため上の子に対して自分ができることは少なく、申し訳ない部分もありました。しかし、下の子の育児には積極的に参加できたため少しでも力に成れていたら嬉しいです。

育児休暇を取らなければ、ストレスは大きかったと思うので取ってよかったと思います。

趣味の時間は...

子供が産まれるまでは、妻と趣味の写真やライブに二人でよく出かけていました。子供が生まれてから行く機会が減りましたが、子供の写真を撮ることやライブのDVDを一緒に見て気分転換しています。娘も写真が好きになってくれたらな～



OTとして

OTとして、家庭と仕事を両立するためなるべく定時に帰ることを心掛けています。早起きは得意なので、朝から家事を済ませ必要な時は勉強や仕事に時間を充てています。（夜は寝落ちしてしまいます...（笑））

臨床では、OTとしてMTDLPやMOHO等用いた介入を心掛けていけるよう頑張っていきたいと思います。

最後に

自分のスキルアップのため、勉強会へ参加していましたが、子供が出来たことを機会に減少していました。現在は、オンラインでの研修が増えたことで参加しやすくなり凄く助かっています。今後も自己研鑽と家庭の両立を目標に頑張ります

地域ケア会議

西諫早病院 橋本 渉

～諫早市での取り組みを通して～

諫早市の動向

- ✓ 私の職場がある諫早市では地域包括支援センターが、市直営の中央部包括と委託で東部、西部、北部、南部と計5カ所ある。
- ✓ 地域ケア会議は以前から行われていたが、新たに令和5年度より諫早市のモデル事業として中央部包括支援センターにおいてサービスCの対象となる方の利用開始時と終了時に地域ケア会議を開催することになり、作業療法士として参加することになった。
- ✓ 令和5年6月より開始になり、ほぼ毎月開催された。
- ✓ 1事例あたり30分程度で実施し、新規1～2例程度、評価事例が1～2事例程度で1回につき3～4事例程度(90分～120分)実施している。
- ✓ 地域ケア会議には、地域包括支援センターの方が4～5名、諫早市の方が1～2名、専門職(薬剤師、歯科衛生士、管理栄養士、理学療法士、作業療法士)が参加して実施している。
- ✓ 残念ながら今年度、リハ職は理学療法士か作業療法士のどちらかが参加ということになっている。
- ✓ 自治体によっては、当日に会議に行ってから資料に目を通すこともあると思うが、諫早市では、2～3日前に基本情報やケアプラン等が送られてくるので事前に目を通すことが可能である。

サービスCとは

短期集中支援事業のことであり、訪問型と通所型がある。
通所型サービスCでは、市町村の保健・医療の専門職が生活機能を改善するために、3～6ヶ月の短期間で運動器の機能向上、認知機能向上、栄養改善、口腔機能向上などを目的として実施される。
対象は、生活機能が低下していく高齢者とし、フレイルに陥りそうな方を早期発見し、自立の状態に回復することを目的としている。



サービスC利用開始時の地域ケア会議で聞かれるのは

目標設定の妥当性について(3ヶ月間で達成できそうか?)
支援する際に注意することやアドバイス等について

そのために事前の資料から

対象者の状況(生い立ちや趣味、疾患や治療状況等)やニーズの把握
ケアプランの目標や支援内容の確認

サービスC終了時の地域ケア会議では

今後、生活していく上で注意していく点や地域にどう繋げていくか等のアドバイスが求められる。

評価結果等を見ながら

開始時評価と最終評価で変わった点を確認し、疾患に対する注意点や生活して行く上でのアドバイス等をしたり、地域での活動等に繋げたりしていくためのアドバイス等を行っている。

最後に

会議においては他職種の専門家が意見を言われるため、耳を傾け尊重しながら作業療法士として意見を分かりやすく伝えていくことが大切だと思います。これから各地でより多く地域ケア会議が開催されると思いますが、多くの方に参加していただき、チームの一員として積極的に意見を交わして対象者の方が望む生活を送れるようにアドバイスをしていただけたらと思います。



広報局のすすめ本



～どこの職場にでもありがちな問題がなぜ起きるのかをわかりやすく解説～

これまでの働き方改革は、残業や休日出勤などの時間外労働に議論が集中し過ぎている傾向があると思います。しかし、働き方改革の本質は生産性の向上にあるのではないのでしょうか。一人一人が専門性を発揮し、付加価値を産み出し、顧客から評価され対価を得る。こうしたことを継続的に実現し、組織の成長・発展に貢献することが重要ではないのでしょうか。人間関係・ unnecessaryな会議など、職場の改善に私たちが取り組まなければならないことが見つかる一冊です。



～作業療法ってなんだろう 一度は悩んだことがある人に読んでほしい～

臨床実習中の学生と実習指導者、対象とのやりとりを漫画で描き、その場面の要点を解説する構成となっています。作業療法は個別性が高く、どんなに強固なエビデンスに基づいていたとしても、選んだ方法が確かとは言い切れないことが多いと思います。私も作業療法とは一体なんなのかと悩んだ時が多々あります。臨床で働く作業療法士が一度は悩んだことがある場面を抽出しており、読みながら少しだけ頭の中がスッキリした本でした。本書にもあるように曖昧さを引き受ける勇気をもらえた本でした。



～若手の女性の方へ タイトル通り 人生につながる読みやすい本～

この本は自分が4年目の時に、元々司書の仕事をされていた患者さんからいただいた本です。本を読まない私でも一気に読みました。読んだ後に、患者さんは女性の人生の先輩として、若手の自分だからこそこの本を薦めてくださったのだと実感しました。仕事を続けていく理由や、モチベーションにつながる方もいるかもしれないと思い紹介させていただきました。



～患者の身体と心の「本当」を知るための 架け橋となる～

23歳で脳卒中を発症し、その後、理学療法士となった経験をもとに語る脳卒中者の主観と身体感覚。私たちが想像する以上にもどかしく辛い運動麻痺や感覚麻痺を脳卒中経験者はどのように感じているのか？障害を疑似体験できる方法を交えながら、経験しなくてはわからない「患者の本当」について理学療法士が伝えてくれています。学生からベテランまで一度は読んで欲しい一冊です。

「さいかい」の感想を教えてください！

このページは、長崎県作業療法士会の会員の皆さまに、「さいかい」に関するご意見を頂きたいと思っております。さいかいは、今回で116号となります。これまで、さいかいの企画・構成は、毎回広報局員が会議でアイデアを出し合い、会員の皆様に興味を惹いてもらえるよう作らせて頂いておりました。ただ、いつも発信が一方通行となっており、一度会員の皆さまのさいかいに対する声を聞かせて頂けたらと思い、今回アンケートをさせて頂こうと考えました。アンケート内容は、さいかいの好きな企画、印象に残っている企画・ページ、さいかいに関する感想など頂けたらと考えております。広報局一同、より良い広報誌を目指していきたくと考えておりますのでアンケートのご協力をお願い致します。

以下、代表的なさいかい企画の紹介です

①県学会関連

▶県学会の講演紹介・プログラム内容・実行委員紹介・学会長の学会に対する熱い想いを掲載しており、さいかいの中でも特に力が入るページとなります。また、学会閉会後の報告なども行っております！

②達人 Tell me

▶長崎県の様々な分野で活躍するOTを紹介する企画です！最多登場は淡野先生となっております！さいかいの中でも鉄板の企画となっており、頑張っておられるOTを紹介できる良い機会となっております！

③九州OT学会・日本OT学会の報告

▶学会発表者や参加者から学会に参加した感想を伺っています！その土地でのエピソードや観光情報も掲載しております！

④私たちのところ、こんなことやっています

▶様々な病院・施設の取り組みや機器などを紹介してもらっています！県内の病院・施設でも中のことはなかなか知らないものです。刺激的な取り組みが多数あります！

⑤お母さん・お父さんOT

▶お母さん・お父さんになっても、仕事を頑張るOTにスポットライトを当てています！日々の生活の工夫など目から鱗な情報もたまにあります！そろそろおばあちゃんOT、おじいちゃんOTもあるかも。。

⑥新人紹介

▶長崎県作業療法士会に入会された新人OTを紹介する企画です！新人さんの顔や名前がわかるため、より繋がりが出来るきっかけになればと思います。新人さんは長崎のOTにインパクトを残すチャンスです！

⑦県士会事業報告

▶長崎県士会事業局の活動を紹介させてもらっています。研修会企画や会員が知らない情報をお届けしております。

⑧広報局のすゝめ本

▶広報局員のオススメ本を紹介する企画です。臨床に役立つものから全く役に立たないものまで様々です。笑
今後も個性的な広報局員の愛読書を紹介させていただきます！

⑨研修会関連 (SIG紹介企画・研修報告など)

▶長崎県内の研修会の報告や、長崎県研修会グループ(SIG)紹介をさせて頂いています。

感想フォーム

こちらのQRコードを読み取れば、アンケートフォームに繋がります。ご協力お願いします！





第31回 長崎県作業療法学会 企画

学会発表サポート&コミュニティ

こんな悩みにアドバイスしてます!!



- ・ 学会発表の**メリット**について
 - ・ **抄録の書き方**について
 - ・ **スライドの作り方**について
- 県士会公式LINE**で告知しています!



勉強会は座談会も含めて1時間程度です。
毎回20~30名の長崎県士会員が参加しています。身障や精神、
経験年数も関係なく色々な会員が参加しています🥰
この企画を通じて、一人でも多くの会員との顔見知りになってもらい、
学会当日に繋がってもらえたらと思っています👏

勉強会主催者：学会長 久保田智博(長崎労災病院)

お知らせ

災害リハ情報共有**LINE** オープンチャット

県士会として、会員の被災状況の情報共有や、
災害リハ関連の情報伝達を目的にLINEの
オープンチャットを運用中！
施設の代表OTの方は登録をお願いします。
登録時はお名前のところは、
「所属 氏名」となるようにご記載ください。

QRコードから登録を！



長崎OT士会 活動・広報ブログ

県士会HPからチェックを。会員(仲間)の活動
を応援しよう。



「元気がいちばんたい！健康まつり」

編集後記

さいかい116号はいかがだったでしょうか？今回は、災害リハ・災害への備えについての内容がありますので、是非目を通して
みてください。台風や大雨など自然災害への備えも忘れずに！！



和仁会病院：竹内明日香
長崎北病院：牧野航、黒木一誠
長崎リハビリテーション病院：生田敏明、江崎莉華子